

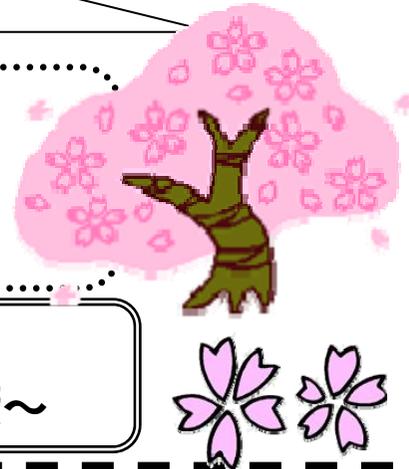
今、何の病気が流行しているか！



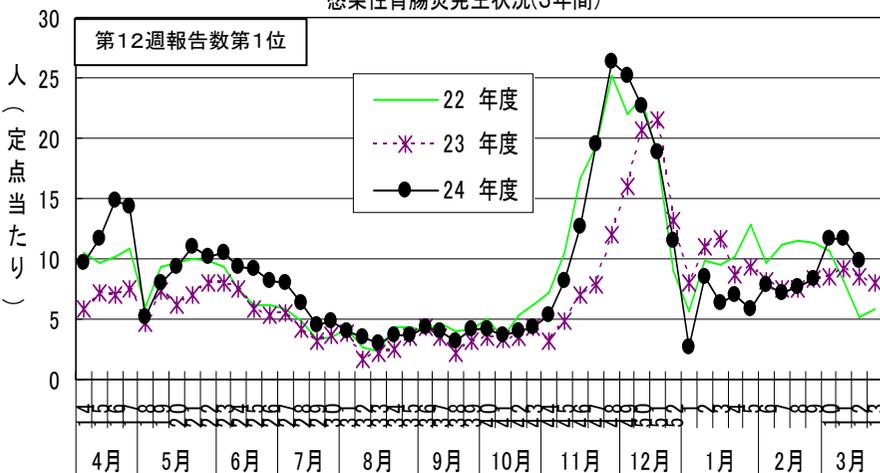
【感染症発生動向調査事業から】

平成25年3月18日（月）～3月24日（日）〔平成25年第12週〕の感染症発生状況

第12週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。感染性胃腸炎は定点当たり9.82人と前週（11.64）より患者報告数は減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。インフルエンザは定点当たり3.13人と前週（3.78）より患者報告数は減少し、例年より低いレベルで推移しています。風しんの届出が12件（臨床診断例5件、検査診断例7件）あり、依然として報告数が多い状況が続いています。一般に、風しんの流行は春先から初夏にかけて多くみられるため、今後も発生動向に注意が必要です。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



健やかに1年間を過ごすために ～感染症にかからないための予防策～

現在、インフルエンザ等の報告数は減少傾向にありますが、これから学校等の春休みが終わり、新年度の集団生活が始まると、感染症にかかる機会が増加しますので、感染予防に注意が必要です。

4月からの新しいスタートにあたり、必要な予防接種をすませるとともに、次に示す感染予防策を徹底しましょう。



川崎市における月別風しん届出数

